

吉野さんら10人 学士院の新会員

日本学士院(井村裕夫院長)は14日、ノーベル化学賞を受けた吉野彰さん(72)ら10人を新会員に選んだ。

特別職の国家公務員(非常勤)で任期は終身。年250万円の年金が支給される。会員数は新会員を含め

人文科学が64人、自然科学

が75人。

新会員は欠員を補充する形で、学士院や日本学術会議の会員、大学や学会など

の推薦を受け、学士院の選考委員会が業績をもとに

選ぶ。

新会員は次のみださん。



高田康成(たかだ・まさひと)
(敬称略)

教授。西洋学の基礎固めに尽力し、中世・ルネ

サンスの期の英国の思想と文学研究に広く斬新な視点を提供し

た。70歳。



金水敏(きんずい・とし)
大阪大学教

授。「ある・いる」といった存在動詞の意味や

用法の歴史的变化を解明するなど日本語研究の新領域を開

いた。64歳。



伊藤真(いとう・まさひと)東

京大名誉教授。決と倒置の手續きの分野で鋭い問題提起をし、学界や裁判実

務、立法に大きな影響を及ぼした。75歳。



柳田敏雄(やなぎだ・とし)

お)大阪大名誉教授。たんぱく質の動きを1分子レベルで観察し、筋肉分子の動きが機械より

もはるかに省エネだと明らかにした。74歳。



家正則(いえ・まさのり)国

立天文台名誉教授。する望遠鏡の建設に貢献し、130億光

年先の銀河を観測。望遠鏡の視力を10倍にする装置も開発し



金田武雄(かなで・たけお)

カーネギーメロン大学の大イタカー記念金享教授。コンピュータ

を使った自動運転や顔画像認識などの先駆的な研究を進めた。75歳。



吉野彰(よしの・あきら)旭

化成名誉フェロ1。小型で軽く、高い電圧で安全なリチウムイオン二次電池を開発して商品

化。モバイルIT社会を実現させた。72歳。



西沢直子(にしざわ・なおこ)石川県立大

学長。イネ科植物が鉄を吸収する機構を解明。鉄分豊富な米や大豆、逆に有害な重金属を吸収しないイネを作

った。75歳。



大塚栄子(おおつか・えいこ)北海道大

名誉教授。がん遺伝子発達のしくみ、DNAの損傷でがんが誘発される仕組みでも重要な成果を上げた。84歳。



宮下保司(みやした・やすひろ)東京大名誉

教授。ヒトでの記憶探求可能な神経機能や脳に関する部位を発見した。71歳。